

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和7年度第3回岩手県大規模事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和7年8月22日（金）13：30～17：00

3 開催場所

エスポワールいわて 3階 特別ホール（盛岡市中央通1丁目1-38）

4 出席委員

狩野徹委員長、島田悦作委員、竹内貴弘委員、濱上邦彦委員、松木佐和子委員、
松山梨香子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員（8名全員出席）

5 専門委員会議題等

（1）議題

ア 大規模施設整備事業の事前評価について＜継続審議＞

政策企画課から前回の審議概要及び県民意見募集の実施結果の概要について説明した後、事業担当課から補足説明があり、これについて審議が行われた。

その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項はなく、審議は終了となった。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

【中山の園整備事業】

（質疑）

現在地の空き地の活用について、現段階では未定で、今後地域住民の意見を伺いながら検討するとのことだが、これまで県有施設の改築等で空き地が生じた際に、どのような活用事例があるか教えて欲しい。

（回答）

保健福祉部が所管する施設の事例を申し上げますと、盛岡短期大学の跡地に、福祉総合相談センターと県民生活センターを移転整備する計画であったり、都南の園の跡地に、障害者支援施設のてしろもりの丘を整備した事例など、県有施設の跡地に、新たな県有施設を整備している状況である。

なお、中山の園の現在地に関しては、地理的な面や施設の性格的に、空き地に新しい県有施設の整備を想定することは難しいと考えており、跡地を有効的に活用していただけるように地域住民や関係者と議論を進めていく。

（質疑）

みたけの杜の隣接地について、木賊川河川改修事業の完成にまだ時間がかかる中で、背後を流れる諸葛川の氾濫であったり、岩手山噴火による火山泥流の被害想定範囲に当たると思われるが、その辺りの対応についての考え方を教えて欲しい。

(回答)

大雨や火山の対策については、基本計画に、在宅の障がい者や入所者のための災害対応という項目を掲げている。施設整備としては、多目的室に、自家発電の機械や食料の備蓄をするなど災害に対応した設備も配備したいと考えている。

また、みたけの杜では、現在も地域のボランティアの方に、入所者の避難を手伝ってもらうような取組をしていただいております、隣接地に新しい施設を整備した際の同様の御協力について、地域説明会でも御意見をいただいていることから、災害に対応した形で取り組んでいきたいと考えている。

(質疑)

現地を見て、地下道が予想以上に距離があると感じた。新居住棟A、BとC、Dが離れていると、どうしても地下道を利用しなければならず、もし、C、Dの東側の土地が県有地なのであれば、地下道を利用しない形で、渡り廊下だけで移動できるようにするなど集約するということは検討されたのか。

(回答)

おっしゃるとおり、C、Dの東側の土地も県有地のため、その土地を切り拓いて集約することも可能ではあるが、現在地の定員を120人とし、人口減少などを加味して段階的に定員を減らしていくことも想定していく中で、いくつかのパターンを作って議論を進めた結果、全部を新築するのではなく、比較的新しい施設は改修して活用するという方向性に至ったところ。

イ 大規模公共事業の再評価について<継続審議>

政策企画課から前回の審議概要及び県民意見募集の実施結果の概要について説明した後、事業担当課から補足説明及び県民意見募集の実施結果に対する県の考え方について説明があり、これについて審議が行われた。

その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項はなく、審議は終了となった。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

【徳田橋地域連携道路整備事業（地域密着型）】

(質疑)

交通量とB/Cの関係について、事前評価時と再評価時で前提条件が変わったことによる影響は3便益のみか、拡張便益にも影響しているのか。

(回答)

3便益のみ影響する。

【木賊川広域河川改修事業】

特になし。

【北上川（上流）広域河川改修事業】

(質疑)

意見番号1について、前段の「河川改修事業により」リスクを回避する対応は困難ということだが、例えば、ぎりぎり被害想定範囲に入っていた場合、火山の対応は全くできな

いと言っていることになるが問題ないか。

また、「火山灰や火山泥流などの」山体崩壊リスクという文言になっているが、山体崩壊とは、火山噴火によって山崩れを引き起こすことであり、火山灰や火山泥流とは別物なので、文言の修正を検討いただきたい。

(回答)

修正する。

＜大規模事業評価に係る答申案について＞

全ての事業について、「県の評価は妥当と認められる」との結論に至った（付帯意見なし）。

ウ 大規模施設整備事業及び大規模公共事業の事後評価について＜報告＞

事業担当課から事後評価の内容について説明があり、これについて審議が行われた。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

【岩手県立福岡工業高等学校改築等事業】

(意見)

機能の検証に関して、今後の改善や見直しの必要性はないということだが、アンケートで否定的な評価をされた方々がどういう理由でそのような考えに至ったのかも把握して、それが施設の機能の問題によるものなのか、そうでないのかを検討した上で、結論付けていただいた方が今後に生かせるのではないか。

また、本当は旧校舎と新校舎のどちらも経験している生徒にアンケートできれば、検証する際に良いアイデアが出てくると感じた。

(質疑)

費用便益分析（参考）で、大規模改造工事の費用が当初計画時と事後評価時で大きく上がっているように見えるが、何か計画が変わったことによるものか、それとも、物価上昇等の影響によるものか。

(回答)

あくまで試算になるが、資材や人件費の高騰分を踏まえたものである。

(質疑)

令和6年4月に一戸高等学校と統合したものの、令和7年度は、機械システム科と電気情報システム科がそれぞれ定員120名に対して、半分程度の生徒数となっている。人数が少ないところを優先して耐震工事をするより、もっと必要とされているところを優先しても良いと感じるが、整備の考え方を教えて欲しい。

(回答)

今回の改築については、当時、耐震性のない県立高校が2校あり、そのうちの1校が福岡工業高等学校であった。東日本大震災の時は、建物に大きな損傷はなかったが、次に大きな地震があった時にどうなるか分からず、人命を優先する必要があるため、老朽化より耐震性に着目して事業を進めたところ。

(意見)

高校再編計画に関連するが、非常にお金がかかることなので、工事が動き出してすぐに統合が起こるようなことが何度もないように留意して欲しい。

【大船渡漁港整備事業】

(質疑)

事業の効果等について、水産物の単価が大船渡魚市場と全国で比較した場合に上昇率が非常に高くなっているということだが、海によって捕れるものも違うと思うが、魚種はどうなっているか。

(回答)

大船渡魚市場は、水揚げ量に対する平均単価で、全国は全魚種の平均単価である。

(意見)

水産物の単価上昇の要因について、どこまでが衛生管理の高度化による効果なのかというのは説明が難しいところだと思うが、物価上昇に加えて、水揚げされる魚種の変化によるところも結構大きい気がする。それを確かめる上では、県内の整備されていない他の漁港における単価を見てみるとその辺が分かりやすくなるのではないかと感じた。

(質疑)

利用者アンケートを踏まえた本事業の改善点として、地盤隆起が起きてどんどん高くなっているということで、今は対症的に梯子を設置して対応されていると思うが、地盤隆起は落ち着いてきている状態なのか。もしまだ続いている傾向であれば、今後の他の事業をする時に、それを考慮した上で設計していかなければいけないと思うが如何か。

(回答)

基本的には、落ち着いているとは言えないと考えている。どこまで地盤が上がるのか予測しづらいが、地球温暖化による海水面の上昇もあるので、そうした様子を見ながら、対応を検討していきたい。

(意見)

国土地理院の電子基準点では、大船渡市は、東日本大震災直後に地盤がマイナス 75 cm 下がり、その後 10 年間かけてマイナス 36 cm まで戻っている様子である。おそらく、地盤沈下によって、想定を相当下げ過ぎてしまい、漁港の盛土をかなり多めに見積もってしまったため、その後に余効変動が起こって、ずれが大きくなっている可能性がある。そうした当時のデータをしっかり取っておくと、本事業の改善点だけでなく、他の地域との比較検討ができると思う。

【築川ダム建設事業】

(質疑)

外来植物の状況について、「試験湛水による種子の運搬ではなく」という記載が良く分らなかったなので教えて欲しい。

(回答)

試験湛水というダムに満杯まで水を貯めて安全性を確認する作業があり、その際に外来植物の種子が入ると、水位を低下させた時に法面などに付着して、そこに定着してしまうことが懸念されるが、モニタリング調査では、そのような被害はなかったという評価になっている。

(意見)

事業には時間がかかったと思うが、無理なお金をかけず、洪水調節機能や水道水の確保、発電など良いことが多いと感じた。再評価でも大幅に方針を転換したりして、このように

上手くいった事例は、ホームページだけでなく、ぜひ色々なところに周知した方が良いと思う。普段の生活ができるのは、こういうダムがあるから、水道もあって洪水も起きないというようなことを小中学生の学習会などでPRしていただければと思う。

エ 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

政策企画課から事後評価実施計画について説明があり、事務局案が了承された。

(2) 会議資料

- 資料 No. 1 令和7年度大規模事業評価地区 位置図
- 資料 No. 2 大規模事業評価専門委員会の審議概要
- 資料 No. 3 大規模事業評価についての県民意見募集の実施結果
- 資料 No. 4 大規模事業（事前評価・再評価）継続審議資料

【事前評価】

- ・中山の園整備事業（滝沢市、一戸町）

【再評価】

- ・徳田橋地域連携道路整備事業（地域密着型）（盛岡市、矢巾町）

- 資料 No. 5 令和7年度大規模事業 事後評価 関係資料
 - ・岩手県立福岡工業高等学校改築等事業（二戸市）
 - ・大船渡漁港整備事業（大船渡市）
 - ・築川ダム建設事業（盛岡市）

- 資料 No. 6 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

- 参考資料 答申書（案）及び審議結果報告（案）

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0人、報道 1社

7 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

8 ホームページアドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/1086023/1086032.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先までFAX等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。